



発行所 新開社 岩城日新新聞 小名浜町港廻51 電話代表387番 振替組合31,355番 編集長 瀬芳郎

全国火防宣傳週間に 小名の積極的活動

町内中等学生等も協力

全国火防宣傳週間に、小名浜地区で三月二日、御代太田消防署長以下全署員、町内中等学校生徒の協力も得て、縣下を一掃する森田式消防ポンプ自動車を先頭に管内消防車を編隊して管内防火宣傳に大奮、特に現在降雨過少に基つき水道の節水すら要望され、水飢饉の懸念も加わっているので各人一層の注意と協力を要する。プラスチックを付した宣傳防火觀念の高揚に努めた。また小名浜町内竹町日本水素工業佐藤氏の留守宅にイロリの不始末による火災があつたが隣家の人の協力で速く消火された。

一層の充實計り 青年學級の研究大会

石城平地区青年學級研究會は、十時より平市公会堂日本協議會で同公民館連絡協議會と共催で盛り上り来る青年學級をより一層充實せよと八月八日午前研究協議會(分科會)のものを信州諏訪郡より勸請して、岡小名宮の作に奉祀せしを、至徳二年(皇紀二〇四四)村民の心願により今の地に遷座すとの記事あり。

近世小名浜變災記

高萩精立

同年九月二十八日、上神白の梵天王、神興にて小名浜中嶋、中町、米野右三ヶ町、お狩家(かりや)を明け、九月二十八日夜、お狩家別当御祈禱なされ、翌二十九日、神興還宮に相成り候。上つて上神白村役人御供。右三ヶ町村役人長御供。(上神白村梵天王出申事)

急募

印刷解版工 男女問わず眞面目な方数名 小名浜町港廻り51 長瀬印刷株式会社 電話二九・三八七番

私達の町政に就て

婦人講座に長瀬助後講師 小名浜町公民館では婦人として婦人として是非を共にして五日後午後二時から同講座に於て「私達の町政」について長瀬助後講師に婦人講座を開く事になった。政治は生活、町の政治がよく行われるか否かが私達の生活を大きく左右する、町を住みよくなる為にも町政を理解し協力する事が何より大事である。私達の町の身上は一体どの位か、「私達の納める税金がどの様に使われているか」等の感り上る婦人層の意識によつて企畫されたもので町民の死の事でも数知れずこの日俄かに病み初めたり三日の内、薬用手當等も届かず死す。この病を引寄せ候者は、凄まじき病にこれあり候につき手取られなく、人々神聖と云ふは流星のごときなり(流星天より下り飛び候事)

魚菜市況

小名浜中央魚菜市場 魚(一貫匁)一〇〇〜一二〇 大根五〜五九 大根五牛 旁二〇〜二四 葱四四 七〇 唐辛四四 四六 人参五〇〜八〇 里芋六〇 鹿(一貫)三二、九 四廿 三〇〜四二 澤庵二〇 一五六 しいんぎ 五八二〜六〇〇

合同慰霊祭

大昭炭礦事故 先月二十日坑内爆発事故を起した大昭炭礦では四日午前十時三十分より同日午前十一時三十分まで第一礦支柱夫相繼ぎ愛するものを信州諏訪郡より勸請して、岡小名宮の作に奉祀せしを、至徳二年(皇紀二〇四四)村民の心願により今の地に遷座すとの記事あり。

大關巡査着任

植田地区署警備課巡査大關定雄氏は去る二十八日付で小名浜地区署に轉勤した。 仁氏(四五)探炭夫 藤作太郎氏(五二)探炭夫 夫芳賀豊治氏(二四)探炭夫 炭夫根本幸助氏(二九) 等職階者五名の合同慰霊祭を行うことになった。

女工さん大募集

一 女工さん 十六才以上五〇名
一 女中さん 十六才以上 二名
一 作業 みるん干製造
一 委細面談の上
一 場所 小名浜町古港三九
日東物産商會 電話三二二五番

平マーケット

入學の御用意 文房具用品 特價奉仕 学生帽 150円-600円 ランドセル 牛皮 1550円 ノーリ袋 スリッパ 上ノーリ 中学高校用 手提カバン 各種 中学童服 セーラー服 特別奉仕 荷新 安値 セーター 中学高校用 服新 安値 学生向 服地 春向 婦人 セーター 化粧品 物屋 メヌマ ジュエジュエビリオ 今評判の『ちどり』フトン綿

井澤林産企業組合

一般建築用材 建具、家具材 秋田材 板、板各種 ラワン板、天井板 箱材 大口径は特に御相談に應じ良心的サービス致します 遠近を問はず無料配達致します

ホシ友醤油株式会社

星友太郎 美味しい醤油 美味しい味噌

